

## 6) 短声堂引声堂跡

かつて、石鳥居と西大門の間に、「念仏三昧院」、「念仏堂」と呼ばれる2つのお堂がありました。

1185年（文治元年）には、法然上人が参詣し、念仏を唱えて日想観の修行を行ったと伝えられています。



これが江戸時代の1617年（元和3年）に再建され、「短声堂（たんせいどう）」、「引声堂（いんぜいどう）」と呼ばれるようになったよ

うですが、空襲で焼失した後再建されず、現在は、入口の跡のみが残されています。

法然上人二十五霊場の札所となっていますが、団体参拝の勤行は阿弥陀堂で行われ、阿弥陀堂が霊場として扱われることもあります。

## 7) 宝物館

四天王寺の宝物館は、2012年にリニューアルオープンしました。

寺の規模からすると、こぢんまりとした印象を受けますが、国宝・重要文化財を含む



500点余りの寺宝

を収蔵・展示しており、聖徳太子信仰や仏教の歴史について現物を見ながら学ぶことができます。季節によっては企画展も開催されます。

聖徳太子信仰や仏教文化を広く認識するために、四天王寺創建から1400年余の永い歴史を越えて現在まで保存・継承してきた寺宝を常時展示されています。

宝物館の拝観時間は、お堂の拝観時間と同じですが、入館の最終受付は、閉館時間の20分前です。

入館して見学する場合は、事前に「四天王寺宝物館」のホームページを見られることをお勧めします。